

鍼灸の魔術師

(7)

ペンギン・文・育

さん

東洋医学とは？



補うとされている。

西洋医学が優れている点は、精密な検査設備、高度な技術を誇る医療機器と強力な薬剤である。しかしさすがの西洋医学も手を束ねるだけの治療困難な病気がある。その場合、治病経験数千年の歴史を持つ東洋医学を選ぶのが賢明であろう。

東洋医学の起源

自然療法を提唱する声が高まっている現在、西洋医学以外にも数多くの治療法が普及され選択にまよいますが、なかでも副作用がない古来の東洋医学の効能を認める報告が増えており現代医学の不足分を

古代の先民たちの抗病経験を組織立った理論体系にまとめ臨床治療に運用。医師等が長い歴史の流れのなかで理論と運用を繰り返し蓄

積した知識と智恵の結晶が東洋医学系統である。東洋医学の組織を家たにたえれば、先ず土台が東洋医学理論で

- 1) 陰陽、五行学説
- 2) 臟象学説
- 3) 精、液、気、血
- 4) 経絡学説
- 5) 病因と病機
- 6) 診断法
- 7) 弁償論治
- 8) 予防と治療

の八大部分から成る。柱は東洋医学の運用と臨床治療の「三大法宝」である。鍼灸、薬草、氣功で、屋根は歴代の各学派流派の理論体系及び臨床経験である。

東洋医学は整体観念を重視する。即ち人間を全体で見ること、心と体の結びつきなどを判断し治療することに心を砕く。

病氣は陰陽のアンバランスから起こり五行と密接な関係がある。人は小宇宙であり、天体の運行が秩序を保ち地球の春夏秋冬の循環が正

常であれば問題ないように、人体の臟腑が良好に機能しておれば病氣はない。

また東洋医学では内臓を肝心脾肺腎の五臓にわけ、その働きには相互に補助し合う相生関係と相互に抑制し合う相克関係、母子依存関係等がある。

ペンギン先生は健康を桶の水にたとえている。桶をつくる五枚の木片である肝(木)、心(火)、脾(土)、肺(金)、腎(水)が一樣にそろっておれば健康という水を満たすことができる。

もし一個の内臓にでも問題があった場合、影響は大きく、その人は不健康となる。従って身体の部分と全体をトータルに見るのが治療の基本とするのが東洋医学である。

ペンギン先生は病人の氣血を調節、血行を良くし抗病能力を増加して邪を除き、次いで内分泌と各経絡の協調を促し

臟腑の機能を強化することによって治療に導く。

例えば耳鳴り、難聴、健忘症、不眠、糖尿病、夜尿多尿、甲状腺亢進、神経衰弱、便秘、リウマチ、月経不調、脊髄変形、癌、肩膝腿痛等は西洋医学では頭が痛い難病であるが、東洋医学では、臟腑経絡の調節、針灸薬草の配合治療等で多少時間がかかっても根氣があれば絶望も有望に転じることができる。

では東洋医学の医師をいかに選ぶか、または自ら医師になるための、名医の基準を述べてみよう。

先ず仁心仁術、医徳が挙げられるが医学造詣も絶対不可欠である。次の研究が要求されよう。医古文、東洋医学史、東洋医学理論、診断学、薬草学、方剂学、黄帝内经、傷寒論、金匱要略、温病学、東洋医学各家学説、中医内科学、東洋医学の外科学、小児科学、

婦人科学、眼科学、耳鼻咽喉科学、傷科学、針灸学、経絡学、刺灸学、針灸治療学、歴代針灸医書の研鑽、各家針灸学説、薬用植物学、薬草薬理学等々。

先生は東洋医学のレベルが最近頼に低下している現状を非常に憂い、良心的な医師は先人から受け継いだ医学遺産を毎日学習研究し努力勉強を怠らないこと、「精誠所至、金石為開」(誠意をつくせば金の石の扉も開く)の精神が肝要としている。

お互いに東洋医学の理解を援助し、その芸術の域に達する努力をかさね、苦しむ病人を助け子孫の健康と幸福を増大するために奮闘を続けるのが先生の目標である。

問い合わせ電話は(1) 3326・3927、3228・6030。